

平成30年度第2回学校評議員の会が開催されました。

日 時： 平成31年2月15日（金） 15：30～17：00

場 所： 堅田高等学校 校長室

出席者： 学校評議員 寺田委員 東委員 村田委員
学校 藤支校長 小野教頭 藤田教務主任
青井生徒指導主任 西村進路指導主任
大野1年学年主任代理 善村2年学年主任
正木3年学年主任

（欠席者）今川委員 谷川委員

<次 第>

1 校長挨拶

授業参観で見ていただいた通り、落ち着いた学習態度で取り組むことができている。教室のエアコン設置工事が始まっている。エアコンは6月1日に始動する。進路の状況も、推薦入試でよく頑張っている。一般入試でも成果を上げている。部活動も頑張っている。70周年記念事業には、後援会、同窓会、地域の方々にご協力をいただき成功の裡に終えることができ感謝している。

2 出席者の紹介 学校側：自己紹介、委員：自己紹介

3 今年度の取り組み現況と課題について

(1) 学校経営全般について ……校長より

(2) 学習指導について ……教務課より

新学習指導要領の実施に向けて準備し工夫をしていくことが課題である。また、高大接続改革にむけても情報を整理し、それに向けて学力を伸ばしていく工夫が求められている。

(3) 生徒指導について ……生徒指導課より

問題行動の件数4件。学校はおおむね落ち着いているが、悪ふざけの中身に課題がある。注意をしていかななくてはならない面がある。また、心因性による長期欠席の生徒に対する配慮がどのようにできるかが課題である。部活動の戦績については、運動部・文化部についても、成績を上げて活躍している。

(4) 進路指導について . . . 進路指導課より

本日現在の進路実績について報告。4年制大学90名。短期大学20名。専門学校49名。就職32名。公務員自衛隊7名。立命館、京産、佛大、龍谷などの難関大にも合格している。当初目標を大きく上回る良い成績を上げてきている。大学は、定数の厳格化や高大接続改革のため徐々に、難化傾向にある。特に中堅クラスの大学が難化している。看護の専門学校希望者については、特別講座や看護体験を実施し、意識を高めている工夫をしている。3年生の29名がまだ進路未決定者（現在受験中含む）である。就職も大企業から内定をいただいている。

進路指導年間計画では、1・2・3年生について、段階的、発展的に進路について考える機会を設けている。

(5) 生徒の学習状況や生活状況について . . . 各学年より

1年 . . . 主任代理

堅田探訪や学校行事を通じた仲間づくりができた。9月の校外学習、友人関係も安定してきている。落ち着いた授業への取り組みができています。家庭を含めた学習習慣の確立が課題である。4月からだれ一人かけることなくきている。

2年 . . . 学年主任

おとなしい生徒が多い。授業中、うるさくして注意することはないが、流れてしまうことがある。生徒の動向を注視する必要がある。家庭学習の時間を延ばすことが課題である。3名が進路変更した。修学旅行では、1名以外全員参加で無事に終了することができた。いよいよ3年生となるので、進路実現への取り組みを進めているところである。

3年 . . . 学年主任

190名の卒業予定者である。進路状況は先述の通り。まだ入試の結果待ちもある。進路については、学費の面でもしっかり相談して取り組む必要がある。

(6) 入学者選抜について . . . 教頭より

一般選抜では、ここ数年は定員を確保している。「生徒の行きたい進路」をかなえていきたいと取り組んでいる。

推薦選抜は、60人の定員が充足できている。特進クラスで頑張りたいという生徒をさらに育てていきたいと考えている。

(7) 学校評価と改善策について . . . 教頭より

学校評価にかかる評価シートの資料の説明。3年間の経緯を紹介。各評定についての説明。保護者からの要望は、自由記述の部分をまとめたものを紹介。

H30年度学校改善策実施状況と学校評価の確認をする。

(8) その他

特になし

4 校務運営に係わる意見交換

- ・学校評議員からの提言等 ○：学校評議員の提言（意見）や質問
●：学校側の発言

- ：アンケートに、「校則が厳しくなった。」とあるが、近隣の印象では、堅田高校のイメージは良くなっている。
- ：4名の生徒の特別指導について。授業の補充などはあるのか。
- ：課題を出している。その取り組みで学習時間の確保及び習熟としている。
- ：各学校で問題行動の基準というものはあるのか。
- ：生徒指導委員会で検討している。問題行動の指導は、罰ではなく指導であり、そのあとの学校生活をしっかりと送ることができるように導くためのものである。やはり、そのあとが大事になってくる。
- ：以前はもっと自転車多かった。自転車庫の使用は減ったのではないか。
- ：クラス数が減ったことが原因の一つだが、湖西線利用の生徒が増加したことも一つです。近年、「堅田高校で学びたい」生徒の通学範囲が広がっている。
- ：服装については、落ち着いている。
- ：ここ数年で、成果が出てきている。
- ：服装だけではなく、通学路のことや校則きまり厳しいという意見はないのか。
- ：直接、聞くことはない。
- ：別件だが、堅田小学校の児童のトラブルを未然に防いだということで表彰を受けた生徒もいる。
- ：先生方自身の悩みなどの対策はあるのか。
- ：ある。制度として確立している。
- ：家庭科の授業を参観してよかった。
- ：いまは、男女共習で、男子もできなくてはならない時代である。
- ：3年生で進路希望変更はあるのか。
- ：大学に合格するも入学金が払えずに進路変更という事例もある。奨学金など含めた制度をアピールしていく必要がある。向きや不向きで本人が希望を変えるという場合もある。

- ：進路ごとのクラス分けはしているのか。
- ：特進クラスと普通クラスのクラス分けぐらいしかない。希望する進路については、面談をしながら固めさせていきたい。
- ：3年での進路変更について、他の生徒と比べて取り組みの遅れが出てくる生徒が出てくる場合がある。
- ：柔軟に対応している。
- ：就職する生徒のほうが、しっかりしてくるよう見受けられる。
- ：その実感はある。
- ：学校評価について、省エネの項目はBをAでもよい
- ：この学校評価は今後どのような方向性にあるのか、県教委に提出するとどうなるのか。
- ：今回、提言いただいたものを県提出用の報告として作成していきます。また、今回の議事録としてまとめたものをホームページに載せて公表をしていきます。次年度の学校評議員について確認する。
- ：授業参観して、教室の机が小さいと感じた。学習意欲の向上にもつながるのではないかな。そういった点の改善などできないものか。
- ：県のほうへまた意見としてあげていく。

5 校長謝辞